

加山又造と継承者たち

— 新たな地平を求めて —

2023年

9月16日(土) - 11月5日(日) 浜松市秋野不矩美術館



加山又造《しだれ桜》(部分) 1988年 株式会社ジャパンヘルスマット 蔵

加山又造の精神を引き継ぐ6名の作家が、加山と共に競演

浜松市秋野不矩美術館では、2015年に加山又造展を開催し、大変好評を博しました。今回はその精神を引き継ぐ6名の作家たち—中野嘉之、米谷清和、松谷千夏子、菅原健彦、市川裕司、吉澤舞子と加山が競演する展覧会です。

加山は、1927年に京都に生まれ東京美術学校（現東京藝術大学）に学び、1950年第2回創造美術春季展に初入選、その後創造美術が新制作協会、創画会へと変遷するとともに、発表を続け常に革新的な作品を生み出しました。また多摩美術大学・東京藝術大学で後進の育成にも力を注ぎ、1997年文化功労者顕彰、2003年文化勲章を受章しました。

第二次世界大戦での敗戦を契機として、改めて「日本画とは何か」が問い直されることになり、戦後から作品発表を開始した加山はそれに直面せざるを得ない世代でした。多摩美術大学で直接に指導を受けた中野、米谷や、次世代の松谷、菅原は師の抱える問いを引き受けながら新しい表現を開拓しました。市川と吉澤はその師を介して加山の直面した日本画の課題を展開させ、それぞれ独自の世界を切り拓いています。出品された作品を通して、戦後日本画の抱えた課題と、それに作家たちがいかに対応したのかご紹介いたします。

また、加山又造と交流のあった秋野不矩の作品も展示いたします。ぜひ、ご期待ください。

出品作家



1. 加山又造《しだれ桜》1988年 株式会社ジャパンヘルスサミット 蔵

加山又造

Kayama Matazo

1927年 京都市に生まれる
1949年 東京美術学校（現 東京藝術大学）を卒業
山本丘人に師事
1966年 多摩美術大学教授に就任
1988年 東京藝術大学教授に就任

1995年 東京藝術大学名誉教授に就任
1997年 文化功労者顕彰
2003年 文化勲章受章
2004年 4月死去（享年76歳）



中野嘉之

Nakano Yoshiyuki

1946年 京都市に生まれる
1970年 多摩美術大学大学院修了
多摩美術大学在学中から加山又造、
横山操に学ぶ
2005年 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
現在、多摩美術大学名誉教授

2. 中野嘉之《火焰夢》2019年



米谷清和

Yonetani Kiyokazu

1947年 福井市に生まれる
1969年 横山操奨学金により渡欧
（多摩美術大学日本画科在学中）
1973年 多摩美術大学大学院修了
1998年 多摩美術大学日本画科教授
現在、多摩美術大学名誉教授

3. 米谷清和《Phone》1983年 三鷹市美術ギャラリー 蔵



4. 松谷千夏子《Pine tree》2020年



5. 菅原健彦《淡墨冬華》2020年

松谷千夏子

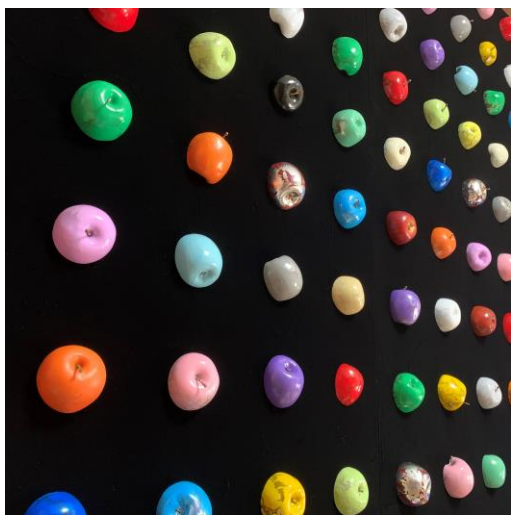
Matsuya Chikako

1959年 神奈川県に生まれる
 1985年 多摩美術大学大学院美術研究科
 日本画専攻修了
 1983年 春季創画展初入選、創画展初入選
 現在、創画会准会員

菅原健彦

Sugawara Takehiko

1962年 東京都練馬区に生まれる
 1989年 多摩美術大学絵画学科日本画専攻卒業
 1994年 五島記念文化賞美術新人賞
 2004年 第2回東山魁夷記念日経日本画大賞展大賞
 現在、京都芸術大学教授



6. 市川裕司《EARTHLING I》2021年



7. 吉澤舞子《青き囁りと共に》2022年

市川裕司

Ichikawa Yuji

1979年 埼玉県に生まれる
 2005年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻
 日本画領域修了
 2012年 五島記念文化財団海外研修員として
 ドイツ・デュッセルドルフに滞在(-2013)

吉澤舞子

Yoshizawa Maiko

1987年 千葉県に生まれる
 2008年 女子美術大学短期大学部造形学科
 絵画専攻卒業
 多摩美術大学美術学部絵画学科
 日本画専攻 三年次編入
 2012年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻
 日本画研究領域修了

展覧会概要

展覧会名： 加山又造と継承者たち—新たな地平を求めて—
会期： 2023年9月16日（土）～11月5日（日）
休館日： 月曜日、但し9/18・10/9（月・祝）開館、9/19・10/10（火）休館
開館時間： 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
会場： 浜松市秋野不矩美術館
〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣130
○HP <https://akinofuku-museum.jp>
○アクセス

電車利用

- ・ J R 「掛川駅」より天竜浜名湖鉄道に乗り換え「天竜二俣駅」下車、徒歩約15分
- ・ J R 「浜松駅」より遠州鉄道に乗り換え「西鹿島駅」下車、
遠鉄バス「二俣・山東行」で「秋野不矩美術館入口」下車、徒歩約10分
または「西鹿島駅」よりタクシーで約7分

車利用

- ・ 新東名「浜松浜北IC」から約10分、「浜松 S A スマート I C」から約20分
- ・ 東名「袋井 I C」から約30分、「浜松 I C」から35分、
「浜松西 I C」から約50分

観覧料： 一般800円、大学生・専門学校生・高校生500円、
70歳以上400円、中学生以下無料

※団体料金あり

※障害者手帳等所持者及びその介護者1名は無料

主催： 浜松市、（公財）浜松市文化振興財団
共催： 中日新聞東海本社
協賛： 遠鉄グループ、天竜浜名湖鉄道株式会社
後援： K-MIX
協力： 有限会社 加山、株式会社ジャパンヘルスサミット
企画協力： アート・ベンチャー・オフィス ショウ

関連イベント

出品作家によるギャラリートークを開催予定

詳細は、美術館HPにてお知らせします

広報の問い合わせ先

株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ（担当：市川、佐藤）
〒151-0063 渋谷区富ヶ谷1-18-8-301 TEL 03-3485-7866 FAX 03-3485-7851
e-mail:avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

加山又造と継承者たち —新たな地平を求めて—

広報用作品画像データ貸出依頼書

掲載についての注意事項と広報用作品画像データ申込書

FAX : 03-3485-7851 e-mail : avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえお送りください。

1. 作品画像データのご提供

本展覧会を貴社媒体にて紹介いただける場合に限り、プレスリリースに掲載の7作品の画像データを貸出いたします。
ご希望の番号に○をつけてお申し込みください。

2. 掲載についての注意事項

- 必ず作家名、作品名、制作年、所蔵先を表記してください。
- 作品は必ず全図で使用してください。改変、部分使用、文字のせなどはできません。
- 確認のため、必ずゲラの段階で広報事務局に原稿をFAXかメールにてご送付願います。
- 作品使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。*展覧会終了後の使用は出来ませんので ご了承ください。
- ご掲載いただいた場合、掲載紙/誌を1部、広報事務局にご送付くださいますようお願い申し上げます。
*尚、掲載ページをpdfファイルにてお送りいただいても構いません。
(その際は広報事務局までご一報ください)

3. 読者・視聴者へのお問い合わせ先の掲載

TEL : 053-922-0315 (浜松市秋野不矩美術館)

4. 読者・視聴者へのプレゼント用招待券のご提供について

本展覧会として、作品図版使用を条件に1媒体につき招待券5組10名様分をご用意いたします。
ご希望の際は下記申込書にご記入の上お申し込みください。

お申込みフォーム

貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		e-mail :	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
掲載予定号/放送予定日		掲載号発売日	月 日
画像データの必要期限	月 日まで	プレゼント招待券	希望する ・ 希望しない

■希望の作品No.に○をつけて下さい。

No.	作家名<作品名>制作年 所蔵先
1	加山又造《しだれ桜》1988年 株式会社ジャパンヘルスサミット 蔵
2	中野嘉之《火焰夢》2019年
3	米谷清和《Phone》1983年 三鷹市美術ギャラリー 蔵
4	松谷千夏子《Pine tree》2020年
5	菅原健彦《淡墨冬華》2020年
6	市川裕司《EARTHLYING I》2021年
7	吉澤舞子《青き囁りと共に》2022年

《広報の問い合わせ先》株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ (担当：市川、佐藤)

〒151-0063 渋谷区富ヶ谷1-18-8-301 TEL 03-3485-7866 FAX 03-3485-7851 e-mail:avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp